

令和3年度(2021年度) 文部科学省等研究指定校一覧

R3. 7. 19現在

◆教育課程研究指定校事業	
〔趣 旨〕	幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校における教育課程及び指導方法等について調査研究を行い、もって学校における学習指導の改善充実及び教育課程の基準の改善に資する。
〔指定校〕	七飯(国語)、稚内(公民)、札幌北、釧路江南(総合的な探究の時間)、 浦河(特別活動) 令和2～3年度 5校
◆教育課程実践検証協力校事業	
〔趣 旨〕	幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校等において、幼児児童生徒が学習に取り組む様子の観察等を通じて、学習指導上の様々な実践を客観的に検証することや全国的な学力調査等と学習の実施状況を相補的に捉えることにより、教育課程の基準の改善充実等に必要となる情報の収集等を行うことを目的とする。
〔指定校〕	倶知安(英語)、松前(総合的な探究の時間) 令和3年度 2校
◆スーパーサイエンスハイスクール (SSH)	
〔趣 旨〕	高等学校及び中高一貫教育校における先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培い、もって、将来国際的に活躍し得る科学技術人材等の育成を図る。
〔指定校〕	北見北斗 平成29～令和3年度 釧路湖陵 平成30～令和4年度 滝川 令和元～5年度 函館中部、札幌啓成 令和2～6年度 旭川西 令和3～7年度 6校
◆地域との協働による高等学校教育改革推進事業	
〔趣 旨〕	高等学校等と市町村、高等教育機関、産業界等が協働してコンソーシアムを構築し、高等学校等における地域課題の解決等の探究的な学びを通して、未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付けるとともに、地域への課題意識や貢献意識をもち、将来、地域で地域ならではの新しい価値を創造し、新たな時代を地域から分厚く支えることのできる人材の育成を図る。
〔指定校〕	登別明日(グローバル型) 令和元～3年度 1校
〔アソシエイト〕	稚内、湧別(地域魅力化型) 2校
◆研究開発学校	
〔趣 旨〕	研究開発学校において、文部科学省が示した研究開発の募集課題に即した研究開発課題を設定し、研究開発を実施する。
〔研究開発課題〕	小規模校や離島の高校の教育水準の維持向上を図るため、全日制及び定時制課程高校におけるメディアを利用して行う遠隔授業の対面により行う授業時数を緩和した単位認定の在り方並びに指導方法についての研究開発を実施する。
〔指定校〕	夕張、平取、南茅部、下川商業、豊富、礼文、常呂、阿寒、寿都
〔協力校〕	有朋 平成29～令和3年度 10校

◆人権教育研究指定校事業	
〔趣 旨〕	人権意識を培うための学校教育の在り方について、教育委員会等との連携・協力の下で幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。
〔指定校〕	釧路明輝 令和3年度 1校
◆実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究	
〔趣 旨〕	選挙権年齢及び成年年齢が18歳以上に引き下げられ、生徒にとって政治や社会が一層身近になる中、高等学校等において、生徒に持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識や社会形成に参画する態度等を育むことをねらいとして、地域や現実社会における諸課題を追究したり解決したりする実践的な学習プログラムを開発し、その成果を普及することによって各学校における取組を促し、主権者として必要な資質・能力を育む教育を推進する。
〔指定校〕	登別青嶺 令和3～4年度 1校
◆道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業（北海道高等学校道徳教育推進事業）	
〔趣 旨〕	平成30年3月、高等学校学習指導要領を改訂し、人間としての在り方生き方に関する教育として、学校の教育活動全体として行う高等学校における道徳教育の充実を図ったことを踏まえ、新高等学校学習指導要領を踏まえた校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（道徳教育推進教師）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開する取組を推進する。
〔指定校〕	砂川、穂別、羽幌、紋別 令和3年度 4校